

ハンガリー政治・経済月報 (2 0 0 4 年 4 月)

平成 1 6 年 5 月
在ハンガリー日本大使館

ハンガリーの E U 加盟

1 . E U 加盟式典等

4 月 3 0 日午後から 5 月 1 日にかけて、ハンガリーの E U 加盟を記念する各種行事が開催された。

(1) 4 月 3 0 日

正午にブダペスト市内王宮の丘で、メッジェシ首相、デムスキ・ブダペスト市長出席により、E U 加盟時間カウントダウン開始を告げる鐘が打ち鳴らされた。

メッジェシ首相は同行事の挨拶で「あと数時間でハンガリーは E U に加盟する。ハンガリーにとり欧州連合加盟は誇りである。現在から、ハンガリーで正午になられる鐘は、1 4 5 6 年のナンドルフエヘルヴァール（注：現在のベオグラード）の（対オスマントルコ戦における）ハンガリー人の勝利を祝するものから、ハンガリーの欧州復帰、全欧州としての意義を有するものになる。E U 拡大は秩序、信仰及び人生における大きな転換点を意味する。我々はこれまでも欧州の門にいたが、今後は門の中に位置する。当国の欧州加盟は可能性であり、我々はこれを活用出来るし、活用しなければならない。お互いに手を取り合うことが重要であり、今日の成功を明日から始まる新生ハンガリーにつなげていこう」と述べた。

なお、その後メッジェシ首相は、市内ミレニウムパークで開催された小・中学生による「学生議会」の開会式に出席した。

同日午後より当国各地で E U 加盟記念行事が開催され、シリ国会議長はオーブスタセル（注：8 9 6 年のマジャール人の当地進出の際、拠点であった場所）での記念行事に出席した。

同日夕刻より、ブダペスト市内ドナウ河畔、アンドラーシ通り等は歩行者天国とされ、英雄広場では加盟祝賀記念コンサートが開催され、1 日未明まで続いた。

3 0 日、ブダペスト市内英雄広場横の行進広場に E U 時間を示す砂時計記念碑が設置された。同日深夜、在ハンガリーの E U 加盟国及び同新規加盟国各大使が同記念碑に集まり、英国大使を最初に各大使が E U 加盟カウントダウンの銅鑼を打った。

午前 0 時前、メッジェシ首相が最後の銅鑼を打ち鳴らした。

- ・ 1 日未明、英雄広場近くで E U 加盟の瞬間を祝して花火が打ち上げられた。
- ・ 1 日未明、メッジェシ首相は上記ブダペスト市内行進広場で演説を行い、「ハンガリーは 1 千年来望んでいた欧州への加盟を果たした。加盟のために働いてきた 1 千万人のハンガリー人達に感謝する。E U に奇跡を期待してはならない。奇跡は我々自身の精神、心、肉体の中にこそ宿っており、それがハンガリーの奇跡になる。そしてハンガリーは奇跡を実現出来る能力を有している。欧州連合加盟は偉大なる出来事であるが、それ以上でもそれ以下でもない。我々は現在 E U 境界線の外側にある者達が一刻も早く E U に入ることを待っている。今次加盟を、当国 E U 加盟を我々と同様に支持はしたが、我々と同様の立場にはない人々とも一緒に祝いたい」と述べた。続いて在ハンガリー・アイルランド大使が挨拶し、当国の E U 加盟を祝した。

(2) 5 月 1 日

午前 9 時よりブダペスト市内国会議事堂前のコッシュート広場でハンガリー E U 加盟記念祝賀式典が行われ、マードル大統領、メッジェシ首相、シリ国会議長、ホッロー憲法裁判所長官及びロムニチ最高裁長官（注：当国では憲法裁、最高裁両長官が司法の長）他が出席した。マードル大統領は同式典でセネシュ国防軍参謀総長を随伴して儀仗兵を閲兵した。

1 日朝、ブダペスト市内の鎖橋に食卓が設置され、5 月 1 日生まれの子供を招待して朝食会が開催された。その後、同橋は 2 日迄歩行者天国とされた。

- ・ブダペスト市内のエルジェベート橋に E U 加盟を記念する大型ペナントが飾り付けられた。また、同橋ブダ側半分の両脇からドナウ河へ「ナイアガラ滝」方式の放水を行う装置が設置され、デムスキ・ブダペスト市長が同装置の栓を開き、2 日まで毎時間毎に放水が行われた。
- ・ブダペスト市内の自由橋に芝生が敷き詰められ、2 日まで同状態で同橋も歩行者天国とされた。
- ・ブダペスト市内ドナウ河畔に拡大 E U 加盟各国の紹介ブースのテントが設置され、各国の飲食物や音楽演奏等が紹介された。また市内アンドラーシ通りに E U 各国の音楽が流されるベンチが設置された。
- ・1 日午後 4 時より、アクロバット機、ハンガリー航空旅客機などによるブダペスト市内ドナウ河上空での記念飛行が行われた。

1 日正午、ハンガリー・テレビ（当国公共放送。MTV）はマードル大統領の祝賀挨拶を放映し、大統領は「今日からハンガリーは、アディ（注：当国愛国詩人）が述べる『兩岸を行き交うフェリーボートの国』から、西の岸に着いて碇を降ろしたのである。歴史的にハンガリーは単に自国のためのみならず、欧州のために戦ってきた。1848 年（対オーストリア・ハプスブルグ）独立戦争や 1956 年ハンガリー革命は欧州精神を実現するための戦いでもあったし、過去 10 年間の平和的革命である体制転換も同様であった。シューマン宣言がその本質を示すところの E U への加盟は、より良き安全保障、自由、及び民主主義を意味する。また貧困層対策、家族問題、農業分野、教育分野及び環境問題などに関し、E U の支援を得ることが出来るようになる。当国の加盟は E U にとって大きな利益をもたらす。当国はノーベル賞受賞者等世界的な文学者、科学者等、またオリンピック・メダリストなどを擁している。我々はハンガリー人であり欧州人でなければならない」旨述べた。

社会党（第 1 与党）はブダペスト市内ヴァーロシュリゲットで 1 日のメーデー記念行事と併せた祝賀行事を行い、コヴァーチ党首・外相とメッジェシ首相が共同で「E U カクテル」を作り、参加者に振る舞った。

- ・青年民主連盟（第 1 野党。FIDESZ）はブダペスト市内ハヨージャールシゲットで祝賀行事を開催し、ポコルニ副党首他が出席した。
- ・自由民主連盟（第 2 与党）はブダペスト市内ドナウ河畔の同党欧州議会選挙キャンペーン会場の係留船の前で祝賀集会を開催し、クンツェ党首、デムスキ・ブダペスト市長等が出席した。
- ・ハンガリー民主フォーラム（第 2 野党。MDF）はペーチ市で祝賀集会を開催し、ダーヴィド党首他が出席した。

メッジェシ首相はブダペストよりヘリでハンガリー・オーストリア国境へ移動し、シュッセル・オーストリア首相と共に、同国境での当国体制転換当時を再現した「鉄条網切断、国境開放」祝典行事に出席した後、シュッセル首相と共に墺側飛行機でアイルランド、ダブリンでの E U 議長国記念行事出席のため出発した。

- 1日夕刻、ブダペスト市内オペラ劇場にて当国EU加盟記念祝賀コンサートが開催された。シリ国会議長が開会挨拶を行い、当国EU加盟の重要性を強調した。続いて、ルーマニア・トランシルヴァニア地方の国境外ハンガリー系少数民族として招待されたマルコー（姓）・ベーラ（名）・ルーマニア・ハンガリー人民主連盟（ハンガリー語でRDMSZ）党首が挨拶し、「EU加盟をもってハンガリー系少数民族問題を等閑視することは許されない。今後ともハンガリーが、EU及び近くEU加盟が予定されるルーマニアとの3者の交渉において、自治を含むあらゆる意味で国境外ハンガリー系住民とハンガリー国内ハンガリー人との一体性を確保するよう期待している」と述べた。

30日付マジャールネムゼト紙（第1野党FIDESZ寄り）1面及びマジャール・ヒールラップ紙（第2与党SZDSZ寄り）EU拡大特集1面は、マードル大統領のハンガリーEU加盟に関する寄稿論文「欧州の中のハンガリー」を掲載した。

付りしを立てて一い
件方、對愛演めりし民り、
条シに國のを極力ば住あ
てハ為相間割てン書系で
よいて行、家役つハ一の
におゝ氣國がとに化りる
こにとい勇權神に時變力す
の信う命界の我、日八存
入値せのに、れてけ人外
け価さ二年もこ全わ万域
受理れ、0に、のり十U
を倫外れ、9時がもと数E
教徳た道示9しれすてお物
ト道ののが8当か向つな念
ス、導二例9該開指從モ記
リ觀に、の1もがを、後い
主間域もそ。一性復る盟な
は人領つにたり能回あ加れ
性一、的つ年し方可のでら
体り念神い6現ンの一らUえ
一ガ概精伴5具八一統がE変
のン家、を9もに統州るくに
一八國的牲1を中再欧すの他
リ、が治儀は誠のな、資來に
ガ様教政ので忠そのちも未的
ン同ト、血近の、和なに近史
ハと斯的、至へえ平故復の歴
と國り力は、神迎の何回アの
性諸主権一た精を州。の二人
体州。のりき州焉歐る一マー
一欧た州方て欧終。あ統一リ
ののれ欧ンしてがたでのルガ
州他らをハ抗え係い要族、シ

●欧、け一、反越關て重民がハ

と國盟加合連州歐の夢
れけなし張主を益利たのさか置始開が歸の復の一のヘリ州ガ欧
の夢けなし張主を益利たのさか置始開が歸の復の一のヘリ州ガ欧
の合法的道は信適目はな目的不のれば自社会我。か策化のるあて会弱住てと化のく層又在つを連中、配題いのは大心問なる會國のへ刻なで社あ盟の全深ばう者に得安はれよ力め所共につの協たハガ加るいりせ々々のハに汚合あはの己とのEのまる八にでUこ自こそ、な留こ、ル務Eのすとは段にび等、テ義モリ々たこの手題は題モノであ築我満すつの間、問州々いで構らゐたいめ済大者欧我お正再が件満とた経増用もなに是の年条を。るにの使造的点的のー0の準いせ單業物構造の等リ9め基なさば失棄会人こ均ガ9たUに現れ、・社、不ハなばを、増殖は徳な機

歐れノル 独自の となでの
 にそのベル かうね一も 他
 ずれレー のいらりで
 たそムノ 派がとあがま
 持はイ 味なでハこ
 も品・績、 意は人た、
 何作ス業 少数をで州ます、
 今者、一の 少をの欧、ら
 は字ル者 何の欧、ら
 々文ケ科 とがもりりわ
 我一。然 にとるああ関
 りる自 リーむ立对人盟
 いる力いた ガる込対人州加
 いンてま ハみと一欧U
 し示家、 ハで踏属リ、E
 有代を画 要に所力りの
 を歴と一 い重代のンあ々
 り。こリ なが時族ハで我
 誇るいガ。もとな民は類
 もいんい族こたは々人は
 最てがハな民の新と我がと
 てつ色。も小すのこ、々こ
 い知遜る迄も持史る来我つ
 かつをとする族保歴足将ち
 いるにと準通す民をが民。即と
 え化こ水に及大産々市る。る
 与文い学れ言は遺我州あ題せ
 にのな文そはら神、欧で課さた。
 州々は界もてか精てのとの致つ
 欧我で世賞い点、つ真こ々合か
 を、のの受つ観性と、る我をな
 何はく代賞にの術ににす。とも
 は々行時ル賞化芸々々1識いこで
 々我に同へ受文、我第認なる物
 我州の一賞性。をらあ何

(1) 2 6 日、ハンガリー国会は、ハンガリー E U 加盟条約公布のための法律案及びハンガリー E U 加盟に際しての国会 4 政党政治宣言案を採択した。投票にはマードル大統領、メジエシ首相、ホッロー憲法裁判所長官、ロムニチ最高裁長官（注：当国では憲法裁長官、最高裁長官の両名が司法の長）が出席し、駐ハンガリー E U 代表部、E U 現加盟国、新規加盟国、ルーマニア、ブルガリア、ウクライナ並びにクロアチア各大使、国境外ハンガリー系少数民族団体代表、及びハンガリー国内少

数民族自治体代表が招待された。本件採択を祝して、議場内でハンガリー国歌に続いてEUの歌であるヴェートーヴェンの「歓びの歌」が演奏され、また議場内講壇両脇に掲揚されているハンガリー国旗に並べてEU旗が掲揚された。

- (2) シリ国会議長は、本件採択投票に先立ち、EU加盟はハンガリー国家創設に匹敵する重要性を有するものだと言った。EU加盟条約公布法案は、賛成339票、反対2票で採択された。無所属議員のバログ議員、ケレミ議員が反対票を投じた。国会4政党政治宣言は、賛成332票、反対3票で採択された。無所属のバログ、ケレミ両議員に加えて、バログ・ハンガリー民主フォーラム(第2野党。MDF)議員の3名が反対票を投じた。バログMDF議員はマジャール・ヒールラップ紙に対し、「EU加盟が全ハンガリー人に特別な可能性をもたらすというのは虚偽であると思ったので、反対票を投じた」と述べた。
- (3) オルバーン青年民主連盟(第1野党。FIDESZ)党首・前首相は、同党が呼びかけている国民投票請願のキャンペーン地方行事に出席しており、本件投票を欠席した。またアーデルFIDESZ国会議員団長は本件投票に際して議場を退出し、投票を行わなかった。社会党関係者は、オルバーンFIDESZ党首、アーデル同党国会議員団長が今次採択の機会に欠席したことを批判した。これに対し、ポコルニFIDESZ副党首は、記者に対し、オルバーン党首、アーデル団長は事前に他の行事への出席が決まっていたので欠席したが、FIDESZは今次採択でEU加盟を是とする投票を行っていると言論した。

内 政

1. オルバーン前首相に対するバチカン勲章授与

- (1) オルバーン青年民主連盟(第1野党。FIDESZ)党首・前首相はヨハネ・パウロ2世ローマ法王から大聖グレゴリー大十字勲章文民賞を授与された。6日、ブダペスト市内王宮の丘に所在する司教宮殿において、ヤヌス・バチカン教皇庁大使は、ハンガリー・カトリック司教会議(MKPK)メンバー列席のもと、オルバーン党首に同勲章を授与した。シェレゲイ・エゲル大司教・MKPK議長は、キリスト教2000年記念の機会にハンガリー建国1000年記念行事が法王庁に認められたと言った。

- (2) ネーブサヴァ紙(第1与党社会党寄り)「一言」欄のテーマ「オルバーンへのバチカンの叙勲はハンガリー内政への干渉か?」に対する反応。

コーシャネー・コヴァーチ・マグダ社会党国会議員(同党欧州議会議員候補)

叙勲そのものは内政干渉ではない。全ての国家は望んだ人物を叙勲する。しかし、選挙キャンペーン期間における叙勲は、バチカンが政治手段により欧州議会議員選挙の結果に影響を及ぼそうとしているとの見方を強めるものである。

フォドル・ガーボル自由民主連盟(第2与党。SZDSZ)国会議員

選挙キャンペーンの時期における叙勲は遠慮されるべきであり、文化観の問題である。しかし、法規に照らした上では本件叙勲は内政干渉ではなく、咎めることは出来ない。

シェムイェーン・ジョルトFIDESZ国会議員

笑止千万の質問である。本件のような叙勲は1年半前から検討されるのであり、バチカンからは事前にイースター前に本件叙勲を行うと打診されていた。コーシャ

ネー議員の考え方は社会を極端に分断するものであり、欧州議会議員候補者として、ハンガリーのEUにおけるスタンスをも損なうものである。

- (3) オルバーン党首は記者に対し、各宗派の間の和解に貢献したことにより、一人のハンガリーのカルヴィン派の人間が法王ヨハネ・パウロ2世から大聖グレゴリー大十字勲章文民賞を受賞されたと述べた。同党首はハンガリーについての至近の前例として、第二次大戦前にフサル・カーロイ首相が本件勲章を受章したと述べた。

コーシャネー社会党議員は、今次叙勲はバチカンの影響力を浸透させることを意図したものだと述べた。

9日、青年民主フォーラム(IDF) 幹部のメツジャサイ・ハンガリー民主フォーラム(第2野党。 MDF) 議員は、コーシャネー社会党議員に対しイースター月曜日に映画「パッシオ」(Passion of the Christ) の招待券を二枚送った。同議員は「本映画は社会党議員団のキリスト教に対するこれまでの評価をはぎ取るのに貢献するだろう。 MDF 議員として、またカルヴィン派の一国民として、社会党による新たな教会への攻撃に対して抗議する」と述べた。

2. ハンガリー・ホロコースト60周年記念

- (1) 16日、マードル大統領、メツジェシ首相及びシリ国会議長は当国ホロコースト60周年記念に際し共同声明を発出した。同声明は、「ホロコーストは全ハンガリー人にとっての悲劇であったと信ずる。客観性をもって過去に向き合い、若い世代にヒューマニズムを教育することが義務づけられている」と述べている。
- (2) 16日、ブダペスト市9区のパーバ通りにホロコースト記念センターが開館し、ロウソクへの点火に続いて、3日間に亘る犠牲者名の読み上げが実施され、ゲンツ前大統領により同読み上げが開始された。
- (3) 16日夕刻、メツジェシ首相はハンガリー・テレビ(MTV。当国公共放送) 放送の中で、「亡くなった者、亡くなった者の親族、或いは不法に憎まれて殺害された者に対して敬意を表したいのであれば、彼らの苦難に対してうめき声を漏らさざるを得ない」と述べた。
- (4) 社会党(第1与党。 MSZP) は、アーデル青年民主連盟(第1野党。 FIDESZ) 国会議員団長が提案した16日正午の黙祷に合流した。
- (5) 16日、デムスキ・ブダペスト市長(自由民主連盟。第2与党。 SZDSZ) は、ホロコースト記念文書センターの開館に際し、「ハンガリー・ユダヤ人に対して、1938年から44年の間にハンガリー政治コミュニティが犯した犯罪について、ハンガリー国民として謝罪する」と述べた。
- (6) 16日、「欧州の観点におけるハンガリーのホロコースト60年後」と題する国際会議が開催され、ヒレル国家文化遺産相、ヴィズィ・ハンガリー科学アカデミー総裁等が出席した。同会合に出席したブラハム(Randolph L. Braham) 教授・ニューヨーク・ローゼンタール研究所所長は、ハンガリーのホロコースト研究の第一人者であり、同会合での講演の中で、「ハンガリー国家が、ハンガリーのホロコーストにおける大惨事について、1944年にホルティ摂政により任命されたストーヤイ内閣の責任を認識することにより謝罪するよう希望する」と述べた。

3. ハンガリー国会議事堂での反イラク戦ビラ散布

- (1) 19日午後、国会での審議中、4人の若者(男性3、女性1) が一般傍聴席フロアで「イラクから外へ」と書かれた横断幕を広げつつ、階下の議場に「イラクか

ら外へ」と書かれたビラを散布した。シリ国会議長は不測事態発生を宣言し、審議が一時中断された。同4名は議事堂警備員により直ちに拘束、退出させられ、警察に引き渡されて事情聴取を受けた。

- (2) 同4名は大学生で、政治グループのアヒムシャ(AHIMS A。インド宗教の基本規則の由)と自称している。同4名は18日に同グループを結成し、今回のビラ散布実行を決定した。取調べの結果、同4名に政治的な背後関係がないことが判明し、午後7時過ぎに釈放された。
- (3) 現行規則によれば、一般市民が国会審議傍聴を希望し、傍聴許可券が得られれば、国会本会議場での審議を市民用傍聴席から傍聴することが出来るところ、国会議事堂関係者の間では本件基準を厳格化する案も出ている

4 「K & Hエクイティーズ社スキャンダル」国会調査委員会閉会

- (1) 20日、「K & Hエクイティーズ社スキャンダル」の国会調査委員会が最終会合を行い、マンデート終了により閉会した(注: 昨年7月、民間金融会社である同社の不正事件が発覚したところ、本件不正資金が当国政治家に渡っていた疑惑が指摘されている)。同最終会合においても、与野党双方の委員の意見は一致を見ず、本会合は約6分間で閉会され、また最終文書案についての合意も出来なかった。
- (2) デメテル同委員会委員長(第1野党。青年民主連盟、F I D E S Z)は、同委員会終了後の記者会見において、「本件スキャンダルの中核である、クルチャール容疑者(注: 元同社アドバイザー、ブローカー)の電話会談を記録した情報を国家保安庁が公開しなかったため、真相解明が出来なかった」と述べ、政府与党関係者に本件不正資金が流れていたとの認識を示した。他方、社会党(第1与党、M S Z P)の本委員会委員は「本件は純粋な経済犯罪であり、政治的関係は存在しない」旨述べた。

5 . メッジェシ首相の政権任期前半の業績評価記者会見

- (1) 21日、メッジェシ首相は、メッジェシ政権発足後の任期前半2年間の業績評価について、レンドヴァイ社会党国会議員団長及びクンツェ自由民主連盟(S Z D S Z。第2与党)党首と共同で記者会見を行った。
- (2) メッジェシ首相は、「現政権は全ての期待に完全に答えられた訳ではないが、公約の大部分を実施してきた」と述べた。同首相は、成功した点として、経済の改善、道路建設、住宅支援の一層の公正化、及び穏便な外交政策を挙げ、他方、議論がある点として、政治・行政界が平穏ではないこと、また国民的利益のロビー活動、アドバイザーが形成されていないことを挙げた。また同首相は、レーヴァイ機会均等問題担当無任所相及びユハースE U統合問題担当無任所相がそれぞれ欧州議会、欧州人権裁判所に転出するのに伴い後任閣僚人事を検討していると述べた。ネープサバッチャーグ紙によれば、メッジェシ首相は両大臣の交替に加えて、更なる閣僚の交替、内閣改造を意図している。
- (3) レンドヴァイ社会党国会議員団長は、現政権業績として、第13ヶ月分年金(1年、12ヶ月分に追加される年金)支給、賃金増加、不公正な社会格差是正、住宅購入支援制度の改善、最低賃金の改善、家族問題支援及び社会的対話の場の設定を挙げた。
- (4) クンツェS Z D S Z党首は、徴兵制度廃止、学位保持者の最低賃金引き上げ、環境保護、インフラ改善プロジェクト、インターネットアクセスの増加、教育改革、

企業家支援策及び減税策を評価した。他方、100日プログラムは必要であったが、当時の財政状況を越えた政策であったと述べた。

- (5) 21日、アーデル青年民主連盟(第1野党。FIDESZ)国会議員団長はメッジェシ首相の本件業績評価に関し記者会見を行い、「現政権の業績は満足からほど遠いものである。現政権2年間の施政下で、状況は前(オルバーン)政権の時と比べて悪化した」と述べた。同団長は、住宅建設の停滞、家族支援制度の改悪、ガス料金と医薬品価格の高騰、多くの雇用の場の喪失、及び農業支援策の失敗を挙げて、「現政権は自己満足の業績評価を行ったに過ぎない」旨述べた。

6. 支持政党、選挙世論調査

- (1) 29日付マジャール・ネムゼト紙(第1野党青年民主連盟・FIDESZ 寄り)

● タールキ社(中立系)による支持政党・選挙についての世論調査結果(4月)

仮にこの週末に国会総選挙がある場合、確実に投票に行き支持政党を有する回答者の支持政党(今次タールキ社調査を含めた各調査結果の比較)

ソント・イブソス社(第1与党社会党寄り)				
ギャラップ社(第1野党FIDESZ寄り)				
メディアアーン社(第2与党自由民主連盟SZDSZ寄り)				
世紀末タールキ社(中立的)				
ソント・イブソス、ギャラップ、メディアアーン、タールキ				
青年民主連盟(FIDESZ):	53%	50%	58%	50%
社会党(MSZP):	37%	33%	34%	38%
自由民主連盟(SZDSZ):	-	-	-	6%
ハンガリー民主フォーラム(MDF):	-	-	-	2%

仮にこの週末に国会総選挙がある場合、全質問対象者の回答。

青年民主連盟(FIDESZ):	33%
社会党(MSZP):	24%

6月の欧州議会議員選挙に確実に投票に行くとした回答者: 56%

同選挙に確実に投票に行き支持政党を有する回答者の支持政党。

青年民主連盟(FIDESZ):	42%
社会党(MSZP):	28%
自由民主連盟(SZDSZ):	4%
ハンガリー民主フォーラム(MDF):	1%

同選挙に確実に投票に行くがどの政党を支持するか明確でない者: 22%

- (2) 5月4日付ネーブサバッチャーグ紙(第1与党社会党寄り)

● ハンガリー欧州議会議員選挙に関する支持政党・選挙についてのポリティカル・キャピタル社世論調査(1000名対象)

欧州議会議員選挙でどの政党に投票するか

青年民主連盟(FIDESZ):	30%
社会党(MSZP):	28%
ハンガリー民主フォーラム(MDF):	9%
自由民主連盟(SZDSZ):	8%
労働者党(共産党):	2%
ハンガリー正義生活党(極右):	1%
その他の政党:	1%
投票に行かない:	3%
誰に投票するか言わない:	11%
わからない:	9%

性別による支持政党(国会政党)	男性	女性
青年民主連盟(FIDESZ):	28%	32%
社会党(MSZP):	26%	29%
ハンガリー民主フォーラム(MDF):	6%	11%
自由民主連盟(SZDSZ):	12%	5%

(3) 5月5日付マジャー・ヒールラップ紙(第2与党自由民主連盟[SZDSZ] 寄り)

●ハンガリー欧州議会議員選挙に関する支持政党・選挙についての世論調査結果(4月。確実に投票を行った支持政党)

ボリヤーティカール・社(第1野党 FIDESZ 寄り)
メデイヤール・社(第2与党 SZDSZ 寄り)

	社会党 (MSZP):	青年民主連盟 (FIDESZ):	自由民主連盟 (SZDSZ):	心加-民主フォーラム (MDF):	投票率:
平均	36%	39%	35%	36%	37%
平均	48%	40%	56%	54%	49.5%
平均	9%	8%	4%	6%	7%
平均	5%	8%	2%	2%	4%
平均	47%	57%	51%	56%	53%

7. 政治家好感度、知名度世論調査

(1) 当国週刊誌「週刊世界経済」(HVG) 4月24日号

●メデイヤール・社(第2与党 SZDSZ 寄り)による当国政治家好感度、知名度について世論調査結果(4月26日、全国1000名以上の成人国民に対して照会。誤差の可能性プラス・マイナス2%)
(支持率、知名度の順。括弧内は2004年1月調査結果との比較)

ダーク・ド・MDF党首:	69% (-5%)	96% (-3%)
グールド・大統領:	65% (-1%)	96% (0%)
クンツ・自由民主連盟党首:	55% (-5%)	96% (-3%)
オルバート・FIDESZ党首・前首相:	54% (0%)	100% (0%)
シムン・FIDESZ副党首:	53% (+1%)	82% (-5%)
デシリ・フダペスト市長:	52% (-4%)	96% (-2%)
シマリ・国会議長:	52% (-2%)	85% (-4%)
マジヤール・教育相:	51% (-2%)	88% (-2%)
レーヴァー・イン機均等担当無任所相:	45% (-8%)	74% (0%)
バーラ・イン司法相:	45% (-7%)	74% (-3%)
ポル・FIDESZ副党首:	44% (-1%)	88% (-3%)
ラム・ペルト内相:	44% (-6%)	87% (-6%)
メツ・エルシ・FIDESZ国会議員団長:	43% (0%)	100% (0%)
アレンド・ヴァイ・FIDESZ国会議員団長:	42% (-5%)	86% (-5%)
コヴァー・アチ・FIDESZ国会議員団長:	41% (-4%)	85% (-1%)
ペテ・アニー・SZDSZ国会議員元党首:	32% (-2%)	90% (-2%)
ケケル・ニ・SZDSZ国会議員元党首:	29% (-6%)	76% (-6%)
ジェン・ニ・SZDSZ国会議員元党首:	29% (-6%)	84% (+1%)
ケヴェル・ニ・SZDSZ国会議員元党首:	28% (-1%)	70% (0%)
グー・ニ・FIDESZ全国評議会議長:	26% (-3%)	84% (-2%)

(2) 5月3日付ネーブサバッチャーグ紙(第1与党社会党寄り)

●ソング・イプソス社(社会党寄り)の当国政治家好感度、知名度について世論調査(4月8-18日、18才以上の市民1500名を対象に実施)
(好感度、知名度の順。括弧内は先月比。)

ダーク・ド・MDF党首:	61% (-1%)	90%
グールド・大統領:	60% (-2%)	91%
バーラ・イン司法相:	55% (+1%)	74%
オルバート・FIDESZ党首・前首相:	53% (-1%)	95%
シマリ・国会議長:	52% (-1%)	84%
ラム・ペルト内相:	50% (+1%)	83%
デシリ・フダペスト市長:	49% (-1%)	90%
メツ・エルシ・FIDESZ国会議員団長:	49% (+1%)	94%
クンツ・自由民主連盟党首:	49% (0%)	91%
ヒレン・文化遺産相:	48% (0%)	54%
レンド・ヴァイ・社会党国会議員団長:	48% (+2%)	80%
コヴァー・アチ・情報通信相:	47% (-1%)	53%
マジャール・教育相:	47% (+1%)	84%
コヴァー・アニー・FIDESZ国会議員団長:	46% (+1%)	87%
ヘル・ニ・MDF議員団長:	46% (-1%)	54%
ペル・ニ・環境相:	46% (+1%)	48%
キシ・首相府担当相:	43% (+1%)	52%

ジュラーニ児童青年スポーツ相：	4 2 % (0)	7 4 %
チグ経済・運輸相：	4 2 % (0)	6 2 %
ユハース国防相：	4 2 % (+ 1)	7 0 %
21 ネーメスト農業・地方開発相：	4 1 % (+ 1)	5 8 %
22 アーデルF I D E S Z 国会議員団長：	4 0 % (- 2)	8 3 %
23 ケーケニ保健・社会・家族相：	3 9 % (+ 2)	7 7 %
24 ケーヴェールF I D E S Z 全国評議会議長：	3 4 % (- 2)	7 9 %
(紙面の都合上、同記事顔写真掲載の24名に入っていない政治家)		
レヴアイ機均等担当無任所相：	5 1 % (支持率)	
ポコルニF I D E S Z 副党首：	4 6 % (支持率)	
ヤーノシ社会・労働相：	4 5 % (支持率)	
ユハースE U 統一担当無任所相：	4 5 %	4 3 %
ブラーニ雇用・労働相：	4 0 % (支持率)	
ドラシュコヴィツ財務相：	3 9 % (支持率)	

8. 治安情勢

1 日、国会の国家安全委員会において、トート国家保安庁長官は、ハンガリーにおける直接的ないし具体的なテロの脅威を示唆する情報はない、国家保安庁・警察・国境警備隊間の調整委員会を通じてテロ対策を実施している旨述べた。またシャルゴー警察庁長官も、ハンガリーはテロリストのターゲットにはなっていないが、テロのロジ拠点となる可能性はある旨述べた。

. 外 交

1. E U 関係

(1) 5 - 6 日、ブリュッセルにてE U 非公式国防相会合が開催され、当国からユハース国防相が出席した。ユハース国防相は、E U 防衛軍設立に関して今後ハンガリーは伊と合同の軍隊を設立する可能性に向けて協議を行っていく旨述べた。

(2) 5 - 6 日、ボルケスタイン欧州委員 (域内市場担当) が当国を訪問し、チツラグ経済・運輸相、ドラシュコヴィツ財相、及びオルバーン青年民主連盟 (F I D E S Z、第 1 野党) 党首と会談を行った。

2. イラク復興支援

現地時間 1 9 日夜、ハンガリー輸送部隊の駐留するイラク中部ヒッラーの基地に 3 発の砲弾が撃ち込まれたが、ハンガリー兵士に負傷者はいなかった。ユハース国防相は、この事件がハンガリー部隊に影響を与えることはないと強調し、また、ハンガリー部隊は計画通りイラク駐留を継続すると述べた。

3. N A T O ・国防関係

2 日、ブリュッセルでN A T O 非公式外相会合が開催され、当国からコヴァーチ外相が出席した。今次会合では、新規 7 カ国の加盟式典が行われた。コヴァーチ外相は、N A T O ・ロシア外相会合でブリュッセルを訪問していたラヴロフ露外相と会談を行った。

4. 二国間関係（要人往来等）

- 6日：リュテル・エストニア大統領、当国を非公式訪問。マードル大統領及びシリ国会議長と会談。
- 7 - 8日：ハイド米下院外交委員長及びラントス議員（ハンガリー出身）、当国訪問。
- 8日：メッジェシ首相、OECD常任会合出席、演説。今次訪仏に合わせてメッジェシ首相は、仏上院議長、仏社会党党首と会談。
- 13 - 15日：カツァヴ・イスラエル大統領、当国訪問。マードル大統領、メッジェシ首相、シリ国会議長、オルバーン前首相と会談を行った他、13日には国会議事堂にて演説。
- 13日：コヴァーチ外相、スロバキア・シュトロボ訪問、クカン外相と会談。
- 13日：ハンガリー・スロバキア・ダム問題会合のため、ペルシャーニ環境大臣がスロバキアを訪問。
- 18 - 21日：コヴァーチ外相訪米、ライス大統領補佐官、パウエル国務長官と会談した他、ホロコースト記念式典に出席。
- 20 - 22日：ラウ独大統領、当国訪問。マードル大統領、メッジェシ首相、シリ国会議長、オルバーン前首相と会談した他、ブダペストで行われた国際書籍見本市のオープニング式典に出席、ホロコースト博物館を視察、独語で教育を行う大学にて講演。
- 29日、ムショカ・ケニア外相、当国訪問。コヴァーチ外相と会談。

5. ハンガリー系少数民族関連

25日、ルーマニア西部アラドにて、対ハプスブルク・独立戦争（1848 - 49年）で処刑された13人のハンガリー将軍を追悼する「自由像」の除幕式が行われ、当国からはメッジェシ首相及びダーヴィド MDF 党首が出席した。ルーマニア側からは文化大臣が出席した。「自由像」は、アラドがハンガリー領だった1890年に設置されたが、同地がルーマニア領となった第1次世界大戦後の1925年に、ルーマニア政府により撤去され、別の場所に保管されていた。

6. 米国とEU諸国の間の査証問題（29日付ネーブサヴァ紙）

（1）EU現加盟国は共通の査証政策を有しており、域外国があるEU加盟国に査証を義務付けることとした場合、当該加盟国は「連帯条項」に基づき、他のEU加盟国が同域外国に対し報復的に査証を義務付けるよう求めることもできる。

（2）米国との関係では、EU現加盟国のうちギリシャだけが査証を義務付けられているが、ハンガリーを含む今次新規加盟国については全て査証を義務付けられている（スロベニアのみ例外）。ギリシャは「連帯条項」に基づく措置を求めているのに対し、新規加盟国のうちチェコとポーランドは右条項による支援要請を検討した由だが、EU拡大を前に欧州理事会は同条項の見直しを決定した。米国の立場は、査証政策は国家のグループを対象にしたものではなく、個々の国ごとに満たすべき要件が明確に規定されている、というものである。

（3）EU現加盟国と新規加盟国との間の国境管理は2006年には事実上なくなるものと見られ、また同年には現加盟国に対する米国の査免措置も失効するところ、欧

州委としては、右措置の延長が行われ、その際には全てのEU加盟国が米国の査免措置を得られることを期待している。

． 経 済

1．ユーロ、ERM - 2 参加時期

(1) 1日付独紙によれば、ヤーライ中銀総裁は、ハンガリーはマーストリヒト基準を満たすにほど遠く、ERM - 2への参加はリスクが大きすぎると述べた。ロイターによれば、先般、ドラシュコヴィッチ財務相は、ERM - 2参加は急がないが、参加すれば不確定要素をなくすることができるため、あまり長く参加を見送ることは好ましくない」と述べた。

(2) 1日、ロンドンでのアナリスト及び投資家との会合の席上、ドラシュコヴィッチ財務相は、ハンガリーのユーロ参加は恐らく2009年か2010年になるであろうとし、参加時期についての政府の正式目標は5月に決定されると述べた。

2．基準金利引き下げ

5日、中央銀行金融協議会は、基準金利を0.25%引き下げ12.0%とする旨を発表した(注：5月3日にも右を更に0.5%引き下げ11.5%とする旨発表)。ヤーライ中銀総裁は発表後の記者会見で次の通り述べた。

(1) 財政赤字は削減されており、経常収支赤字も減少、輸出も急速に伸びており、また消費は適切なバランスに到達し、賃金上昇も生産性上昇と調和していることから、より低い金利であっても外国投資家はハンガリーへの投資に魅力を感じるであろう。

(2) 引き下げられた金利でも、2005年のインフレ目標の達成は可能であるが、これらの改善はまだ脆弱であるため、徐々に小さな段階を踏んでいくしかない。2月に発表した中銀の最新の予測によれば、12月のインフレ率は前年比6.9%であるが、これは医薬品価格の凍結により0.2%減少する可能性がある。インフレ率の上昇は4月か5月にピークとなり8%になる可能性がある。

(3) 中銀は為替レートの目標相場を有していない。フォリント高は輸出の妨げにはなっていない。

3．EU加盟後の労働力移動問題

21日、ハンガリー政府は、EU拡大後の現EU加盟国による労働者の移動に対する規制に関し、相互主義を適用することを閣議決定し、現加盟国等を次の3グループに分けて規制を適用することとした。

(1) アイルランド、英：労働者の流入に対して何ら規制を設けない。

(2) デンマーク、ノルウェー、スウェーデン：これらの国からの労働者はハンガリーにおいて労働許可を取得せねばならないが、労働許可の付与は即時に行われる。

(3) オーストリア、ベルギー、フィンランド、仏、ギリシャ、オランダ、アイスランド、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、独、伊、ポルトガル、スペイン：これらの国からの労働者に対しては、国内の労働市場の状況を踏まえて審査した上でのみ労働許可が付与される。

4. ロシアのWTO加盟に伴うハンガリー・ロシア間の関税に関する合意

ハンガリーからの輸出品に対するロシアの関税率は、ブリュッセルで署名された合意に基づき、ロシアのWTO加盟を機に、平均50%引き下げられる。外務省によれば、関税率引き下げは、ハム30%→20%、リンゴ35%→10%、ワイン20%→15%、プラスチック製床材20%→6.5%、木製床材20%→12%。ハンガリーにおける多くのワイン産地及び製品も当該合意文書に個別に記載されている。

(本資料は当該月間のハンガリー紙等の報道をベースにとりまとめたものです。)